

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	ウニ・アワビ種苗放流事業	3-6
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	3
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	浜益支所産業振興課	直通電話	79-2177
担当部長	工藤 泰雄	担当課長	渡邊 隆之
		担当者	寺山 和孝

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	ウニ・アワビ種苗放流事業を実施する石狩湾漁業協同組合に対し、事業費の2分の1以内の補助金を交付する。		
(2)事業開始年度	昭和50年代	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	3 元気で活力あるまち	
	施策項目(大)	(2)水産業の振興	
	施策項目(小)	つくり育てる水産業の確立と後継者などの育成	
	施策コード	30201	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	磯周り漁業者の経営の安定と漁業振興を図る。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	ウニ・アワビ種苗を浜益海域内の適水域に放流し、漁獲高の増大を図る。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	天然ウニ種苗100,000粒、人工ウニ種苗120,000粒、人工アワビ種苗15,000粒を購入し、適水域に放流(うち人工ウニ種苗20,000粒は静穏水域で中間育成後放流)する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	・わかさぎ増殖事業 ・ハタハタ増殖事業
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	2,427	2,337	2,111	2,004
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	259	249	269	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	2,686	2,586	2,380	
事務に従事した正職員延べ人数	0.03	0.03	0.03	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)	2,427	2,337	2,111	2,004		種苗購入費	5,586	6,286	5,209	5,209
入	自己資金	3,947	4,682	3,978	4,085	出	その他	788	733	880	880
	計(B)	6,374	7,019	6,089	6,089		計	6,374	7,019	6,089	6,089
	(A/B)	38.1	33.3	34.7	32.9						

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
ウニの放流数(粒)	目標値	220,000	220,000	220,000	220,000
	実績値	150,000	220,000	220,000	
	達成率	68.2	100.0	100.0	
アワビの放流数(粒)	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000
	実績値	20,000	20,000	15,000	
	達成率	100.0	100.0	75.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
ウニの漁獲高(千円)	目標値	25,000	21,000	24,000	23,400
	実績値	20,324	21,472	26,987	
	達成率	81.3	102.2	112.4	
アワビの漁獲高(千円)	目標値	7,000	7,000	6,000	6,000
	実績値	7,502	6,589	7,780	
	達成率	107.2	94.1	129.7	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	事業の成果と施策の成果とに関連があるか
その事業に市が関与する必要があるかどうか			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(2) 効率性			イ 成果
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	事業の成果は目標を達成しているか
コスト削減は可能か			1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
(3) 公平性			ウ 事業内容
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か
さらなる受益者負担は可能か			
(1)~(4)の評価ポイント合計			
総合評価の参考にしてください。			
7~11 A or B			
12~15 B or C			
16~21 D or E			
13			

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		本事業は、浜益区の漁業振興において大変重要な役割を果たしており、本事業の実施により年々資源の維持・増大が図られてきている。また磯周り漁業者の後継者育成のためにも経営の安定は重要であり、このため本事業は必要である。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		育てる漁業の推進は今後の漁業振興において重要な役割を果たしており、今後も本事業を継続していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持 一部見直し 大幅見直し	
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		漁獲高も増加してきて、磯周り漁業者の経営の安定が図られた。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		育てる漁業の推進は今後の漁業振興において重要な役割を果たしており、また漁業者の高齢化に伴い磯回り漁業者が今後も増えていくことが想定されることから、本事業を継続していく。アワビ・ウニが大きく成長する生育環境の整備が今後必要となってくる。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持 一部見直し 大幅見直し	
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
現状の放流数を維持する。			